

園だより



駿河台大学第一幼稚園
10月

天気が心配された運動会でした。最後の最後に雨が降ってしまい、残念ながら、、、本当に心の底から残念でしたが、年長さんの最後のリレーを中止いたしました。本当に申し訳ありません。見ていただく日を決めましたので、行事予定をご覧ください。

運動会に向けて、子どもたちは身体を音楽に合わせてたり、友達を意識しながら一緒に動きを合わせたり、競技で勝敗を意識して取り組んだりしてきました。年長組ならではの役割を果たす係もありました。緊張ももちろんあると思うのですが、係を受け持つことが、とても嬉しそうで自信をもつきっかけになればよいなと思っています。一人ひとりのその受け取り方や身に付き方は違うと思いますが、様々な形で身体を動かす経験をしながら、楽しんでほしいなと願っていました。あわただしい金メダル授与になりましたが、今日はお子さんをたくさん褒めてあげてゆっくり休んでください。



今年は、小学生の修了生競技を行いました。「おかえり、ただいま」何ていい響きでしょう。大きく成長した子どもたちに会えてとても嬉しかったです。入退場門で待機中の修了生がトラック内で演技している年長のソーラン節を見て懐かしそうに一緒に踊っている姿もとても嬉しい姿でした。いつでも帰れる場所になるといいなと思います。

さて、秋の虫の声も聞こえ始め、実りの秋がやっときたと感じます。朝夕の涼しい風が心地よくなってきました。先日、千葉の友達のお母さまから庭の栗の枝をいただき幼稚園に飾りました。きれいな黄緑のイガが美しく、立派なものです。それを見た年中組さんが「サボテンだ」という子どもたちが多かったのです。もちろん「クリ」という子どももいました。何故、サボテンだったのかを考えると5月の親子遠足でサボテンを探そうというクイズをしたことや、園庭前のJ K Kの敷地に背の高いサボテンがあり、どこまで大きくなるだろうと興味津々な子どもたちだったことなどが身近で、トゲのある緑色の植物をサボテンという答えになったのでしょう。知識は身近な生活の体験や会話から、または、調べて知ることがありますが、秋を自然物を通して感じてほしいと思っています。